

# 知っておきたい 由利本荘市の樹木

守り続けよう緑あふれるこの大地  
緑豊かな環境を次世代へ



改訂版：平成30年3月

発行元：由利本荘市緑化推進協議会（農林水産部農山漁村振興課内）

このパンフレットは市民の皆様からの「緑の募金」を活用し作成しております



# 県指定天然記念物

**1** **カスミ桜**  
かすみざくら



天13  
5月〜10月  
県

所在地／葛岡字落合43  
樹齢／推定400年 樹高／14m  
幹周／5.0m 所有者／個人

樹齢400年以上という古木で、花盛りの頃には遠くから眺めると霞がかかったようにかすんで見えるという。花の時期、敷地内の「かすみ温泉」では湯船に花が舞い落ちて、ひとときわ風情が増す。

**2** **イチイ**  
いちい



天15  
県

所在地／鳥海町中直根字前ノ沢81-2  
樹齢／推定600年 樹高／10m  
幹周／3.3m 所有者／個人

イチイの巨樹としては全国的にも有数。雌株で、上部で多数の枝を分岐し、傘状のよく整った樹形である。近年、腐朽と枯死部分の枝を伐採したが、なお樹勢は盛んである。

**3** **千本カツラ**  
せんぼんかつら



天17  
県

所在地／鳥海町栗沢字内通13-4  
樹齢／推定800年 樹高／35m  
幹周／18.0m 所有者／個人

全国でも屈指のカツラの巨木。1株で1つの森を形成しているかのような特異な姿である。別名「蛇喰(じゃばみ)の千本カツラ」といい、地元では株元に大蛇がすむ山の神として崇められている。1990年読売新聞「新日本名木百選」選定。

**4** **堀切のイチヨウ**  
ほりぎりのいちよう



天22  
11月  
県

所在地／中俣字小金ヶ沢71  
樹齢／推定400年 樹高／30m  
幹周／7.2m 所有者／個人

女性の信仰を集め、落葉で翌年の豊凶を占ったとも伝わる地元の神木。また、弘法大師巡礼の際に、杖にしていたイチヨウを逆さに立てたものが根付いたという伝承がある。別名「さかさイチヨウ」。

**5** **鳥海ムラサギ原生林**  
ちようかいむらさぎげんせいりん



天28  
県

所在地／天島町城内字木境国有林内  
面積／13ha 樹高／23m  
幹周／6.5m 所有者／国

主幹が地上3〜4mで複数の支幹に分岐する特徴をもつ、鳥海山唯一の天然スギ林。フナ帯上部で寒風雪域帯に成立した特異なスギの生態型として学術的に貴重。しかし1991年の台風により倒伏、現在は小型残存木のみが点在する。

**6** **岩館のイチヨウ**  
いわだてのいちよう



天34  
4月〜11月  
県

所在地／東由利蔵字岩館72  
樹齢／推定300年 樹高／30m  
幹周／9.2m 所有者／神明社

県内有数のイチヨウの古木。中世由利地方の豪族下村氏の館跡にある諏訪神社の境内木。下村氏の乗馬ムチが根付いたとも伝わり、また乳の出をよくしたい女性の信仰を集め、別名「乳房のイチヨウ」ともよばれる、神木である。

**7** **法内の八本スギ**  
ほうないのはっぽんすぎ



天38  
5月〜10月  
県

所在地／東由利法内字白ヶ沢外2国有林  
樹齢／推定500年 樹高／40m  
幹周／11.5m 所有者／国

地上3m付近から7本(現在は6本)の支幹に分岐し、それぞれが直立する極めて特異なスギ。その規模は、県内現存の天然スギでは最大級で、学術的にも貴重。2000年林野庁「森の巨人たち100選」選定。



## 由利本荘市の花・木・鳥

### 花 | さくら

山に山桜、東由利に黄桜、本荘公園をはじめ各学校地内や通学路などで身近に感じることができ、子吉川や芋川は桜づつみとして近く桜のトンネルが新しい名所となる。

長い冬の寒さに耐え、待ちに待った暖かく明るい春を象徴しており、こぼれるほどに咲き誇る花と清らかな香りは人々を和ませる。



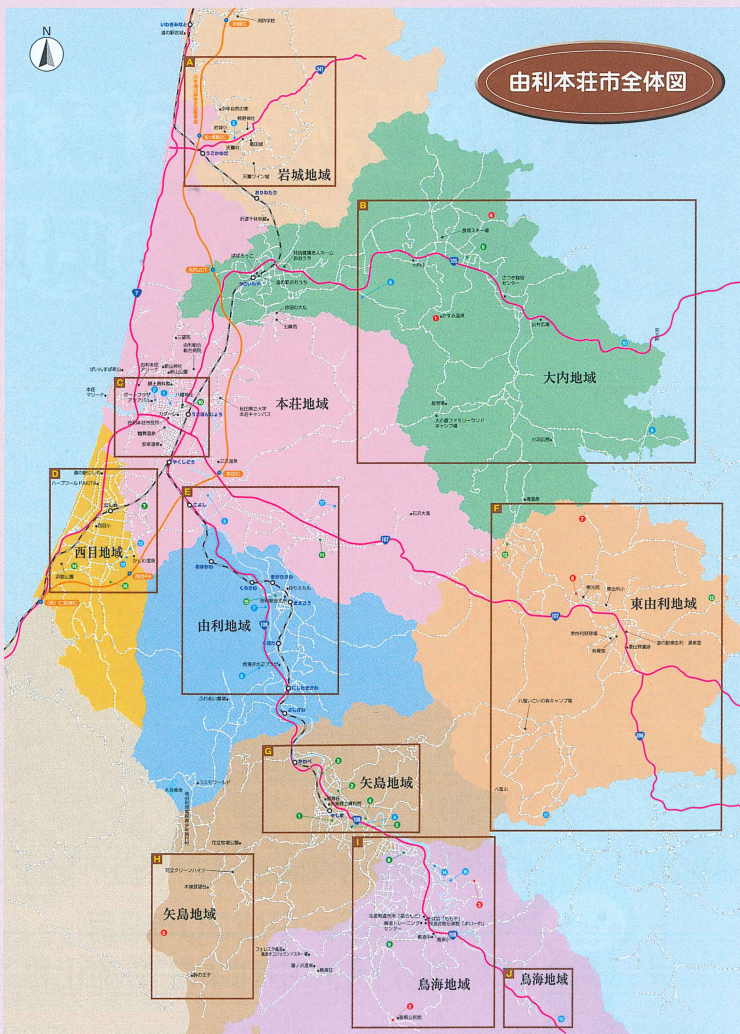
### 木 | ケヤキ

代表的な広葉樹であり山地に自生するが、昔から人家の防風林として植えられたり、神社、仏閣、学校のシンボルなどでなじみが深い。材は堅く、木目も美しく、磨けばきれいな光沢が生じ、湿気にもよく耐える。枝は大きく四方に広がり、根が大地にしっかりと張り付く姿は逞しく力強く、無限の発展を感じさせるとともに本市発展の姿をイメージさせる。



### 鳥 | キジ

日本の固有種で、国鳥に選定されている。農耕地、河川敷、草原など広く生息しており、美しい容姿と夫婦親子の強い愛情が、平和の原点を感じさせる。





# 市指定天然記念物

**1** **山寺のツバキ**  
やまてららのつばき



天第1号  
市

所在地/矢鳥町七日町山寺53  
樹齢/推定200年 樹高/6.0m  
幹周/0.4m 所有者/山寺丁内

同根から9本の幹を出す株立ちの老木。藩政時代に矢鳥を治めた生駒氏の家老、七条左京の慰霊のためとも、その忠僕の遺体を埋めた場所とも伝わる。

**2** **高建寺臥龍松**  
こうけんじがりゅうまつ



天第2号  
市

所在地/矢鳥町立石字上野121  
樹齢/推定350年 樹高/5.0m  
幹周/2.8m 所有者/高建寺

庭園木で、臥龍の姿に仕立てられている樹形による名称である。近年、竜尾の樹勢に衰えがみえるものの、竜が上体を持ち上げる姿は、よく保護され、美しい。

**3** **サイカチ**  
さいかち



天第3号  
市

所在地/矢鳥町立石字下田表104  
樹齢/推定460年 樹高/15m  
幹周/3.8m 所有者/個人

根回り8m、枝張りは東西15m、南北18mの大きさと、屋敷木のサイカチとしては珍しい巨木。根元に鳥居と稲荷堂が建てられ、氏神として祀られている。

**4** **梅**  
うめ



天第4号  
市

所在地/矢鳥町元町字新所82  
樹齢/推定400年 樹高/10m  
幹周/4.2m 所有者/個人

寛永17(1640)年、讃岐高松から矢鳥へ移封された生駒高俊の家臣が、奉じてきた文殊菩薩を安置した祠とともに植えた白梅と伝わる。太い幹にコブを多数生じさせた風格ある姿である。

**5** **八幡神社榎**  
はちまんじんじやくやき



天第5号  
市

所在地/矢鳥町元町字相庭館5-1  
樹齢/推定400年 樹高/31m  
幹周/4.8m 所有者/八幡神社

矢鳥地域を代表するケヤキの巨木。木曾義仲の家臣、根井小弥太正重の孫藤八郎が武士を捨て帰農した際に建立したのがこの八幡神社とされ、その境内木である。

**6** **葛岡金峯神社社叢林**  
くまがきまほんじんじやくやき



天第6号  
市

所在地/葛岡字宮ノ腰73-1  
樹種/スギ、マツ、カラ、サカ、カシ、ナラ、ミズ、クサ、トナリ、カ、ウツ、ナ、ヒバ、カマツ、ナ、カ、所有者/葛岡金峯神社

大内地域最古の神社である金峯神社の叢林。多様な樹木が混生し、種類、本数、樹勢とも、本地域では他に例のない貴重な自然林である。

**7** **白山神社のスギ**  
はくさんじんじやくやき



天第7号  
市

所在地/船岡字永田上30-2  
樹齢/推定500年 樹高/18m  
幹周/5.5m 所有者/船岡町内会

地上約5mで主幹が3本に分岐し、各々が太く、直立しているのが特徴。スギの特性上、風害を受けやすい条件下にありながら、これほどの大樹は極めて貴重な存在。

**8** **大久保のケヤキ**  
おおくほのけやき



天第8号  
市

所在地/鳥海町下川内字大久保9-3  
樹齢/推定250年 樹高/12m  
幹周/2.7m 所有者/個人

大木の幹のように横たわる根と、根元付近で2本の幹に分岐する、堂々として枝張りをもつ巨木の屋敷木。遠目には2本のケヤキが寄り添っているようにも見える。

**9** **休石のカヤ**  
やすみのいかや

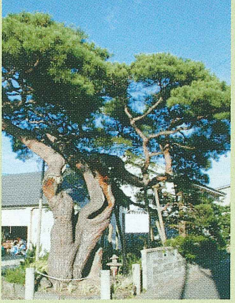


天第10号  
市

所在地/鳥海町下直根字休石156-2  
樹齢/推定300年 樹高/7m  
幹周/2.0m 所有者/個人

カヤは良材として、また実から良質の油が採れることで知られる。本来暖地製の樹木であるカヤが、当地のような厳しい気候でこれほどの大樹となるのは珍しい。

**10** **赤沼の赤松**  
あかぬまのあかまつ



天第11号  
市

所在地/赤沼町25  
樹齢/推定350年 樹高/8m  
幹周/3.0m 所有者/個人

本城豊前守満茂の隠宅であったと伝わる場所にある屋敷木。太くねじれた幹と、枝を伸ばす姿は、いかにも風情にあふれた老樹。雪をまとうと一層味わい深い趣がある。

**11** **石沢館のイチヨウ**  
いしざわだてのいちよう



天第12号  
市

所在地/館字石沢館10  
樹齢/推定400年 樹高/18m  
幹周/5.5m 所有者/館町内会

中世由利地方の豪族石沢氏の館跡にある天満宮の境内木。石沢氏の信仰する天満宮建立の際に植えたものと伝わる、大イチヨウである。

**12** **大台のオンコ**  
おおだいのおんこ



天第13号  
市

所在地/東由利宿字大台19  
樹齢/推定500年 樹高/6m  
幹周/2.4m 所有者/個人

古くから山の神として祀られてきた屋敷木。イチイの変種のキャラボクで、秋田県ではちかも「オンコ」と呼ぶことが多い。本来低木であるキャラボクとして県内屈指の巨木。

**13** **祝沢のミズナラとサルナシ**  
いわいざわのみすならとさるなし



天第14号  
市

所在地/東由利老方字浮蓋42  
樹齢/推定400年 樹高/22m  
幹周/2.9m 所有者/個人

地域の人々が「山の神のご神木」として祀る。ミズナラは東北の落葉広葉樹林を代表する樹種で保水力の高さが名称の由来とも。根元から長く太い大蛇のようにサルナシが絡みつく。

**14** **熊野神社のツバキ森**  
くまのじんじやくやきもり



天第18号  
市

所在地/西目町西目字根子ノ沢  
樹齢/推定350年 樹高/20m  
幹周/5.0m 所有者/由利本荘市・田高町内：熊野神社

ヤブツバキ北限として県指定男鹿市能登山を上回る群生で、規模や本数等、県内随一の貴重な植物群落。近年はツバキ森を一周する四国八十八箇所のみこ巡礼地として人気がある。

**15** **慶祥寺のケヤキ**  
けいしやうじのけやき



天第19号  
市

所在地/前郷字寺の下27  
樹齢/推定550年 樹高/24m  
幹周/7.8m 所有者/慶祥寺

由利仲八郎政春の姉慶祥比丘尼が開祖とされる名刹・慶祥寺の境内木。現在確認されている本市内のケヤキの中で幹周りが最大である。

**16** **湯保八幡神社のケヤキ**  
かたほはちまんじんじやくやき



天第20号  
市

所在地/西目町西目字湯保29  
樹齢/推定770年 樹高/18m  
幹周/5.75m 所有者/湯保八幡神社

由利十二頭の湯保氏、本荘藩六郷氏の崇敬を受けた湯保八幡神社の境内にあり、神社祭典の際には、使用した草鞋をケヤキの枝に掛ける風習が現在も受け継がれている。「慶祥寺のケヤキ」に次ぐ幹周りである。



# 地域の名木・古木



1 美倉町のケヤキ  
みくらまちのけやき

所在地／美倉町

旧「本荘市役所」の防風林として植えられ成長した二本が古木として残ったものと言われている。新市の木がケヤキとなったことから道路整備時に線形変更を行い、古木は残された。



2 乳下がりのイチヨウ  
ちちさがりのいちよう

所在地／獵師町20

市内獵師町にある超光寺境内のイチヨウ。幹から大きい多数の乳状下垂(気根)が生じていることから名前の由来になっている。この乳状下垂が地面に達し、根を着けると主幹と一体となり太くなっていく。



3 宮内八幡神社のイチヨウ  
みやうちほちまんじんのいちよう

所在地／宮内字上下野15

八幡神社(矢始八幡)の境内木。同社には昔、八幡太郎義家の本陣が置かれたという伝承があり、このイチヨウの根元には「義家腰掛の石」がある。天徳3年(959)の創立と伝えられ、元禄7年(1694)に本荘藩主六郷政晴によって再建された由緒ある神社である。



4 八幡神社のイチヨウ  
はちまんじんのいちよう

所在地／天島町元町字相庭館5-1

八幡神社の境内木。すぐ側のケヤキ(「八幡神社ケヤキの頁参照」とは、ほぼ同じくらいの樹高で立ち姿まで似通っており、葉を落とす冬などは兄弟木のように見える。



5 西圓寺のイチヨウ  
さいえんじのいちよう

所在地／岩城亀田大町字肴町

岩城亀田地区にある西圓寺の境内木。昔、清心坊がこの地で杖をさし休んだところ、杖が地中にめり込み、抜けなくなって根付いたのがこのイチヨウだと寺伝えにある。



6 根城のスギ  
ねじょうのすぎ

所在地／川西字高野1

市指定史跡「由利仲八郎政春終焉の地」にある。政春の慰霊のため里人が植えた松が育たず、隣にスギを植えたところ共によく育ち、「抱き合いの松」と称されたが、現在はスギのみ残る。



7 森子大物忌神社参道杉  
もりこおものいみじんじやさんだのすぎ

所在地／森子字八乙女下99-1

国指定史跡「鳥海山」「森子大物忌神社境内」の参道杉。鳥海山登拝道滝沢口にあたり、約300段の石段上部に、杉の大木が立ち並ぶ。社殿隣には、500年以上とされる御神木が立つ。



8 諏訪神社の大杉  
すわじんじやのおおすぎ

所在地／大倉沢字向沢158

神社の境内に生育している古木である。



9 親方のモミ  
おやかたのもみ

所在地／羽広字鳥居脇142

寛文5年(1666)、赤田の閑居様が斎藤庄右衛門の氏神様に合社を願う以前から、本樹は生育していたと伝えられている。



10 七ツ鉢のイチヨウ  
ななつぼちのいちよう

所在地／羽広字七ツ鉢46

主幹の途中から狭いVの字形に分かれており、2本の合体木のようなものである。言い伝えでは、もともと1本立ちのイチヨウを伐採したところ、切株から2本の若葉が成長し、大木となって根もとが癒着したのだという。



11 石抱のナラ  
いしかわのなら

所在地／東由利黒淵字ボツメキ

ボツメキ水源から200m程に位置し、地表に突出した幅1.8m高さ1mの大岩を両足で包むようにそびえ立っている。



12 六助ケヤキ  
ろくすけけやき

所在地／西目町西目字下中沢38

日本海からの強風と飛砂から屋敷を守るために植えられたもの。



13 大山祇神社のヒノキ  
おおやますずみじんじやのひのき

所在地／西目町西目字上中沢17-1

大山祇神社は文保2年(1318)の観請と伝えられている。檜は後年の植栽と考えられる。



14 大栗沢のモミ  
おおくりさわのもみ

所在地／鳥海町栗沢字大栗沢24

玄開扉を押し分けるように立つ樅の屋敷木。由来や樹齡は不明であるが、10年ほど前に強風対策で上部の枝を伐採したところ、枝の年輪で100年以上あったとのことから、かなりの古木と考えられる。



15 下谷地のイチヨウ  
したやちのいちよう

所在地／鳥海町下笹子字下谷地

根もとには権現堂がある。同家の氏神を祀ったものであるが、このような巨木・古木は神の依代(よりしろ)として神聖視され、信仰と結びつきやすい。



16 赤沼のイチヨウ  
あかぬまのいちよう

所在地／鳥海町栗沢字赤沼

屋敷木。樹勢も良好で、この先だけ大きくなるか楽しみな木と言える。



17 南光院の五葉松  
なんこういんのごようまつ

所在地／滝ノ沢

享保元年(1714)に本荘藩六郷政晴から南光院初代当主へお祝いとして五葉松と家門の両脇に2本の松が植えられた。門脇の2本の松の内1本は倒木してしまったが、五葉松は当時を忍ぶが如く今なお美しく目を楽ませしてくれる。

県 県指定天然記念物

市 市指定天然記念物

未 地域の名木・古木

電車、バスなどの交通機関を利用すれば、気軽に訪れることができます。

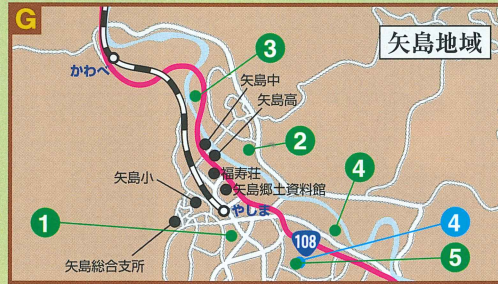
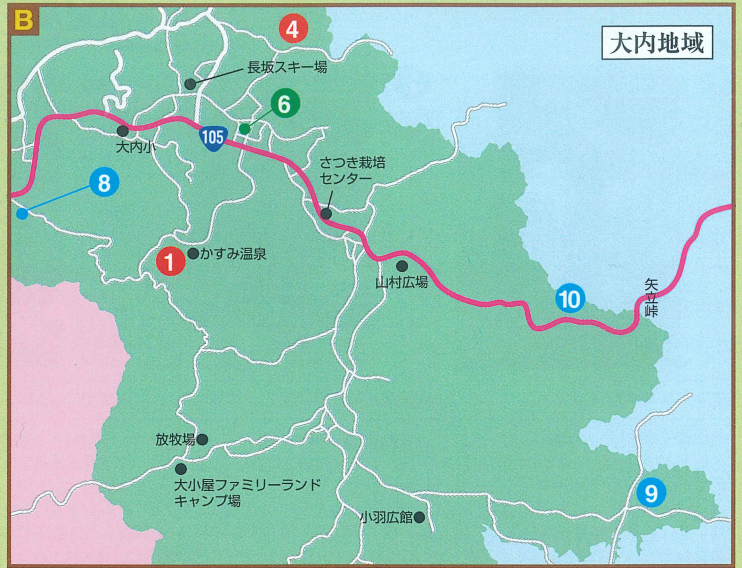
歩く時間が長くなりますので、歩きやすい靴がおすすめです。

花や紅葉など、おすすめの見頃があります。

個人、私有地のため見学する時は、ご注意ください。



詳細マップ





# 「緑の募金」へのご協力をお願い

## 緑の募金とは

緑の募金は、森林の荒廃など森林が抱える問題を解決するため、「森づくり・人づくり」の活性化に活かされています。

## 緑化推進委員会では次のような活動を推進しています

- ・地域の緑化活動を支援
- ・緑の少年団等の活動支援
- ・チラシの配布、キャンペーンの実施
- ・緑化コンクール等の表彰
- ・植樹祭等の開催
- ・森づくり活動の支援
- ・森林ボランティアの活動支援

## 募金はこんなことに役立てられています

- ・町内会による花壇等の緑化活動
- ・学校の緑化活動
- ・緑化の普及啓発活動
- ・緑化行事の開催
- ・名木・古木のパンフレット作成
- ・苗木の頒布

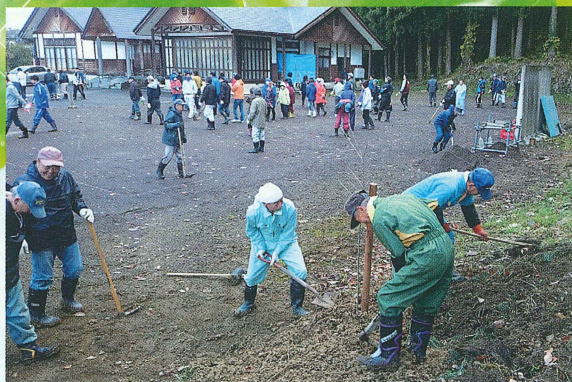
## 募金を活用した本市の活動状況



大内小学校 開校記念植樹



岩城小学校 開校記念植樹



松山町内 植樹活動



矢島町城内 河川敷植栽活動



「緑の募金」は毎年4月～5月にかけてご協力をお願いしています。  
みなさまの募金をお待ちしております。

**お問い合わせ先**  
電話市外局番(0184)

- 由利本荘市農山漁村振興課 ☎24-6357
- 由利総合支所産業課 ☎53-2114
- 西目総合支所産業課 ☎33-4614
- 矢島総合支所産業課 ☎55-4956
- 大内総合支所産業課 ☎65-2216
- 鳥海総合支所産業課 ☎57-2205
- 岩城総合支所産業課 ☎73-2014
- 東由利総合支所産業課 ☎69-2116